

太陽光発電パネルを
設置した青梅事業所



有力コイルセンターの
根津鋼材（本社・東京都
荒川区、社長・根津訓光
氏）は5月、関東事業部
の青梅事業所（東京都青
梅市）に太陽光発電シス

根津鋼材 青梅事業所で太陽光発電

遮熱シートで労務環境改善も

テムを導入した。将来的には高性能な蓄電池を導入し、日照環境に左右されない100%再生可能なエネルギーで稼働する工場を目指す。また全拠点に遮熱シートの設置を進めており、暑さ対策および製造現場の労務環境改善も図っている。

青梅事業所の太陽光発電システムの発電出力は201・25KW（太陽光パネル350枚）で、発

電した再生可能エネルギーは同工場内でリアルタイムに消費使用される。根津社長によると「日照時間が長い6月は消費電力の6割近くまで太陽光発電で賄うことができた」としており、通

年でも45〜55%程度は太陽光発電による電力使用の実績を見込んでいる。

同社ではSDGs活動を通して省エネ・資源再

削減などの取り組みを積全3期を予定。近年の気候変動により夏場の暑さのほか、全照明のLED化や燃費効率の良い社用車のHV導入、まとめ配送や効率的で燃費の良いライト組みといったエコドライブの推進、低燃費走行にも努めている。また青梅事業所では8月に遮熱シートも設置する。今夏は第1期工事



島県須賀川市）では5月に第2期工事（全3期）を完了。浦安事業所、相模原事業所、写真、八潮事業所では既に設置が完了している。